

(案)

# 第4次国有林野施業実施計画書

(利根上流森林計画区)

自 平成23年4月 1日  
計画期間  
至 平成28年3月31日

関東森林管理局

# 目 次

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別の区域 .....	1
2 施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積又は標準伐採量、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量 .....	1
(1) 伐採造林計画簿 .....	1
(2) 水土保持林（水源かん養タイプ）における施業群別面積等 .....	1
(3) 水土保持林（水源かん養タイプ）における施業群別の上限伐採面積 .....	3
(4) 資源の循環利用林における生産群別の面積等 .....	4
(5) 資源の循環利用林における生産群別の標準伐採量 .....	4
(6) 伐採総量 .....	5
(7) 更新総量 .....	7
(8) 保育総量 .....	7
3 林道の整備に関する事項 .....	8
4 治山に関する事項 .....	12
5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域 .....	13
(1) 保護林の名称及び区域 .....	13
(2) 緑の回廊の名称及び区域 .....	15
6 レクリエーションの森の名称及び区域 .....	16
7 その他必要な事項 .....	29
(1) 施業指標林、試験地等 .....	29
(2) フィールドの提供 .....	30
(3) その他 .....	31

## 1 国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別の区域

国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別の区域については、別添国有林野施業実施計画図による。

## 2 施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積又は標準伐採量、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

### (1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、別添伐採造林計画簿に示すとおりである。

### (2) 水土保持林（水源かん養タイプ）における施業群別面積等

(単位：面積ha、伐期齢 年)

施業群	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年
スギ長伐期	944.83	伐採面積の縮小、モザイク的配置	80
スギ分散伐区	2,851.44	〃	50
ヒノキ長伐期	525.46	〃	80
ヒノキ分散伐区	1,392.47	〃	55
ヒノキ枝打分散伐区	480.33	伐採面積の縮小、モザイク的配置、照度の確保	55
アカマツ長伐期	439.17	伐採面積の縮小、モザイク的配置	80
アカマツ分散伐区	201.12	〃	55
カラマツ長伐期	2,949.81	〃	80
カラマツ分散伐区	2,356.70	〃	50
スギ複層林	373.97	水源かん養機能に配慮した非皆伐	50～100
ヒノキ複層林	295.51	〃	55～110
その他複層林	12.64	〃	50～100
天然生アカマツ分散伐区	546.80	伐採面積の縮小、モザイク的配置	55
ぼう芽分散伐区	286.90	〃	25
天然林漸伐分散伐区	5,408.25	伐採面積の縮小、モザイク的配置、確実な更新	60(120)
ブナ漸伐分散伐区	1,106.81	〃	150
択伐	14,815.75	(注) 1による	回帰年は定めない
生物多様性維持	3,003.78	自然の推移に委ねる	定めない
生物多様性復元	2,200.07	自然林への誘導を念頭にした非皆伐	50～55
人工林整備型長伐期	436.22	伐採面積の縮小、モザイク的配置	80

施 業 群	面 積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年
そ の 他	438.65	(注) 2による	定めない
施 業 群 設 定 外	—		
合 計	41,066.68		

- (注) 1 択伐施業群の伐採は標準伐期齢以上とし、水源かん養機能の発揮に配慮しつつ隣接林分の主伐、間伐時に併せるなど適時に行うものとする。
- 2 保護樹帯の伐採は保護樹帯設定基準による。

## (3) 水土保全林（水源かん養タイプ）における施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施業群	上限伐採面積	摘 要
スギ長伐期	59	
スギ分散伐区	285	
ヒノキ長伐期	33	
ヒノキ分散伐区	127	
ヒノキ枝打分散伐区	44	
アカマツ長伐期	27	
アカマツ分散伐区	18	
カラマツ長伐期	184	
カラマツ分散伐区	236	
スギ複層林	37	
ヒノキ複層林	27	
その他複層林	1	
天然生アカマツ分散伐区	50	
ぼう芽分散伐区	57	
天然林漸伐分散伐区	451	
ブナ漸伐分散伐区	37	
択伐	1,482	
生物多様性維持	—	
生物多様性復元	200	
人工林整備型長伐期	29	
その他	—	
施業群設定外	—	
合計	3,384	

(4) 資源の循環利用林における生産群別の面積等

(単位：面積ha、伐期齢：年)

生産群	面積	生産目標等	伐期齢又は回帰年
スギ中径材	987.71	一般建築材(22cm)	50
ヒノキ中径材	109.77	一般建築材(22cm)	55
アカマツ中径材	373.35	一般建築材(24cm)	55
カラマツ中径材	189.99		50
ぼう芽	86.90	しいたけ原木(8~12cm)	25
天然林漸伐	4.76	家具・木工・加工用材(20cm、上木30cm)	60 (120)
択伐	17.28	家具・木工・加工用材(30cm)	回帰年は定めない
その他	2.70	定めない(保護樹帯等)	定めない
分収林	147.29	一般建築材(22cm)及びしいたけ原木	20~55
合計	1,919.75		

- (注) 1. 「生産目標等」の数値は、生産目標とする胸高直径である。  
 2. 択伐生産群の伐採は標準伐期齢以上とし、生産目標に対応する期待径級に達した後に隣接林分の主伐、間伐時に併せるなど適時に行うものとする。  
 3. 伐期齢又は回帰年欄の( )は、上木の伐期齢

(5) 資源の循環利用林における生産群別の標準伐採量

当計画区の「資源の循環利用林」は、分収林が大部分であり、標準伐採量は定めないこととする。

## (6) 伐採総量

(単位：材積m³)

区 分		林			地		林地 以外	合 計	
		主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計			
水 土 保 全 林	国土保全タイプ	—	26,657 (399.27)	26,657	}	}	}	}	
	水 源 か	スギ長伐期	—	17,070					17,070
		スギ分散伐区	—	75,807					75,807
		ヒノキ長伐期	—	5,033					5,033
		ヒノキ分散伐区	—	14,653					14,653
		ヒノキ枝打分散伐区	—	13,140					13,140
		アカマツ長伐期	—	1,698					1,698
		アカマツ分散伐区	—	439					439
		カラマツ長伐期	—	47,831					47,831
		カラマツ分散伐区	—	30,397					30,397
		ん	スギ複層林	512					13,501
	ヒノキ複層林		—	2,076					2,067
	その他複層林		—	621					621
	養		天然生アカマツ分散伐区	—					358
	タ	ぼう芽分散伐区	—	—					—
		天然林漸伐分散伐区	1,346	43,957					45,303
		ブナ漸伐分散伐区	—	—					—
	イ プ	択 伐	287	13,575					13,862
		生物多様性維持	—	—					—
		生物多様性復元	7,032	52,101					59,133
人工林整備型長伐期		—	13,842	13,842					
そ の 他		36	79	115					
施業群設定外		—	—	—					
	小 計	9,213	346,178 (5,120.16)	355,931					
	計	9,213	372,835 (5,459.43)	382,048					
森 林 と 共 生 と 林 の	自然維持タイプ	—	—	—					
	森林空間利用タイプ	504	49,842	50,346					
	計	504	49,842	50,346					

(単位：材積m<sup>3</sup>)

区 分		林 地					林 地 以 外	合 計
		主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
資 源 の 循 環 林	スギ中径材	75,151	8,115	86,266				
	ヒノキ中径材	3,243	315	3,558				
	アカマツ中径材	25,652	—	25,652				
	カラマツ中径材	11,827	684	12,511				
	ぼう 芽	2,181	—	2,181				
	天然林漸伐	—	—	—				
	択 伐	—	—	—				
	そ の 他	—	—	—				
	分 収 林	13,812	2,040	15,852				
	計	131,866	11,154 (143.69)	143,020				
合 計		141,583	433,831 (6,645.55)	575,414	29,300	604,714	—	604,714
年 平 均		28,317	86,766 (1,329.11)	115,083	4,360	120,943	—	120,943

(注) ( ) は、間伐面積 (ha) である。

## (7) 更新総量

(単位：ha)

区 分		水 土 保 全 林			森林と人との共生林			資源の 循環 利用林	合 計
		国 土 保 全 タイプ	水 源 かん養 タイプ	計	自 然 維 持 タイプ	森 林 空 間 利 用 タイプ	計		
人 工 造 林	単 層 林 造 成	—	62.94	62.94	—	1.31	1.31	295.76	360.01
	複 層 林 造 成	—	2.87	2.87	—	—	—	—	2.87
	計	—	65.81	65.81	—	1.31	1.31	295.76	362.88
天 然 更 新	天然下種第1類	—	—	—	—	—	—	—	—
	天然下種第2類	—	120.52	120.52	—	11.23	11.23	7.39	139.14
	ぼう 芽	—	20.36	20.36	—	—	—	28.46	48.82
	計	—	140.88	140.88	—	11.23	11.23	35.85	187.96
合 計		—	206.69	206.69	—	12.54	12.54	331.61	550.84

## (8) 保育総量

(単位：ha)

区 分		水 土 保 全 林			森林と人との共生林			資源の 循環 利用林	合 計
		国 土 保 全 タイプ	水 源 かん養 タイプ	計	自 然 維 持 タイプ	森 林 空 間 利 用 タイプ	計		
保 育	下 刈	6	1,511	1,517	—	—	—	1,221	2,738
	つる切	1	280	281	—	—	—	2	283
	除 伐	1	520	521	—	—	—	3	524
	枝 打	—	16	16	—	—	—	—	16

### 3 林道の整備に関する事項

基幹・ その他別	開・設 改・良	路 線 名	箇 所 (林 班)	延 長 (m)	備 考
そ の 他	開 設	こもぎ林道小捨沢支線	114外	1,900	
		こもぎ穴原	115	1,600	
		谷 山	22外	5,500	
		高 泉	142外	480	
		赤 城 沢	145外	600	
		赤 倉	34外	390	
		溝 又 川	18	200	
	手 小 屋	370	600		
	小 計	8路線		11,270	

基幹・ その他別	開・設 改・良	路 線 名	箇 所 (林 班)	延 長 (m)	備 考
基 幹	改 良	子 持 山	160外	200	C B 横断溝 舗装工外
		前山・船ヶ鼻 (船ヶ鼻)	151外	30	
		屋 形 原	161	30	
		糸 之 瀬	157	40	
		昭 和	156外	30	
		佐 山	3外	50	
		石 墨	1	10	
		奈 女 沢	16	30	
		新 地	126外	200	
		倉 見 沢	122	100	
		根 利 栗 原 川	87外	500	
		こ も ぎ	116外	60	
		高 泉	141外	80	
		二 又 沢	139外	30	
		ヶ ヤ キ 沢	104	100	
		根 利 平 川	78外	100	
		金 井 沢	60	20	
		武尊・塗川 (塗川)	52	80	
		武尊・塗川 (塗川江戸沢)	53	50	
		武尊・塗川 (前武尊)	47外	80	
		武尊・塗川 (西俣沢)	50	30	
		武尊・塗川 (武尊)	373外	10	
		宝 川 ( 宝 川 )	336	100	
		中 野	39	30	
		赤倉・大白沢 (大白沢)	41	20	
		雨 見	207外	150	
		万 沢 ( 赤 沢 )	216	200	
		南 ヶ 谷	247外	80	
		赤 谷	239外	130	
		小 出 俣	241外	70	
保 戸 野	213	100			

基幹・ その他別	開設 改良	路線名	箇所 (林班)	延長 (m)	備考
基幹	改良	宝川(栗沢)	328	20	CB 横断溝 溝渠工外
		母谷	302	50	
		檜俣	359外	200	
	小計	34路線		3,010	
その他	改良	鹿俣沢	14外	20	
		新地林道袈裟丸支線	132外	40	
		黒岩	134	20	
		柏段	129	30	
		高場沢	121	20	
		穴倉	118外	30	
		こもぎ穴原	115	10	
		こもぎ林道小捨沢支線	114外	30	
		高泉林道第一支線	142外	20	
		高泉林道第二支線	145外	20	
		赤城沢	146	20	
		皇海	95	10	
		屋敷	99	10	
		栄沢	106	40	
		田地	58	20	
		飯内	52	20	
		十二沢第一	48	10	
		十二沢第二	49	20	
		天狗岩	46	20	
		溝又川	18	30	
		中沢	25外	20	
		赤倉林道滝の沢支線	35	20	
		大峰	249外	50	
		大峰林道大沼支線	253外	20	
		笠原	211	10	
		姉山	211	10	
		南山	203	50	

基幹・ その他別	開・設 改・良	路 線 名	箇 所 (林 班)	延 長 (m)	備 考
そ の 他	改 良	西 山	204	30	C B 横断溝 舗装工外
		霧 峠	206	20	
		大 沼	259	10	
		三 峰	257外	20	
		三峰林道三峰支線	256	30	
		赤 沢	206外	60	
		法 師	217	10	
		茂 倉	227外	30	
		栗 生 沢	302	10	
		向 山	384	20	
		谷 川	307	20	
		栗沢林道中ノ沢支線	328外	10	
		栗 生 沢	332	10	
		田 代	366外	40	
		大 沢	369	30	
		大沢林道竹が沢支線	370	20	
		櫛俣林道座々良支線	360	30	
		先 倉	363	70	
矢 田 沢	362	20			
	小 計	4 6 路線		1, 110	
合 計	開 設	8 路線		11, 270	
	改 良	8 0 路線		4, 120	

#### 4 治山に関する事項

位 置 (林 班)	区 分	工 種	計 画 量
1～3、5～9、11、14、16～20、23、25、28～33、 35、36、38、39、41～50、53～56、58～61 63～67、69、71、72、75、78、87、89、91～96 98、100～102、110～115、118、122～124 127、128、131～133、135、138、140、142 145～150、153、155～158、160～164 201～217、219、221～224、226、228、231 232、240～242、244～251、254、256～259 301～304、307、312、313、326～333、360 362、364～370、373、374、377、383～385 388	保安林の整備	本数調整伐 除 伐 保 育	2, 8 8 4 h a
2、78、79、88、96、98、99、114、149、209、225 259、324、328、329	保 安 施 設	溪 間 工	2 5 箇所
44、114、240、259、313、326、327、331、363 385		山 腹 工	
合 計	保安林の整備		2, 8 8 4 h a
	保 安 施 設		2 5 箇所

## 5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

### (1) 保護林の名称及び区域

当計画区には、原生的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存を図ることを目的として、下記のとおり保護林を設定しており、適切に保護、保存を図っていくこととする。

種 類	名 称	既 設 ・ 新 設	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等
森林生態系 保護地域	利根川源流部 ・燧ヶ岳周辺	既 設	保存地区 3,861.67	347-Vに <sub>2</sub> 、ほ イ <sub>4</sub> ～イ <sub>7</sub> 347-VIは～イ <sub>6</sub>	原生的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存 学術研究に資することを目的とする。
			保全利用地区 7,792.10	347-I～347-IV全 347-Vい～は イ <sub>1</sub> ～イ <sub>3</sub> 347-VIい、ろ 347-VII全	
森林生態系保護地域 計			11,653.77		
林木遺伝資源 保存林	ほ た か さ ん 武 尊 山 シラカンバ	既 設	8.60	52り <sub>2</sub>	武尊山におけるシラカンバの遺伝資源の保存
	栗 原 川 ウダイカンバ	〃	11.75	100に <sub>1</sub>	栗原川におけるウダイカンバの遺伝資源の保存
	谷 川 岳 ・ サワグルミ	〃	8.28	319ろ <sub>1</sub>	谷川岳におけるサワグルミの遺伝資源の保存
	一 の 倉 ・ ブ ナ	〃	7.53	319ほ <sub>2</sub>	谷川岳におけるブナの遺伝資源の保存
遺伝資源保存林 計			36.16		
植物群落 保護林	武 尊 山 カ ラ マ ツ	既 設	1.83	46ぬ <sub>1</sub>	140年生程度の人工林カラマツの保護
	法 師 ネ ズ コ	〃	3.47	216え	ネズコ、コメツガ、ブナ、ミズナラ その他広葉樹からなる天然林で、この地方には珍しい林相を有することから学術的及び森林施業上の

種 類	名 称	既 設 ・ 新 設	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等
	法師ネズコ				考証。
植 物 群 落 保 護 林	大 影 ミ ヤ マ ツ チ ト リ モ チ	既 設	2.12	206わ <sub>1</sub>	分布上稀産種のミヤマツチトリモチは深山の落葉樹林下に生育するカエデ類、イヌシデ、クロヅル等を宿主とする寄生植物で、その自生地を学術研究上保護。
	<small>とおなが</small> 遠 永 シ オ ジ	〃	0.87	203う <sub>2</sub>	シオジの北限としての学術及び森林施業上の考証。
	<small>かしょうざん</small> 迦 葉 山 天 然 ヒ バ	〃	2.44	17わ〜か <sub>2</sub>	天然生ヒバの伏状更新が良好で学術上の考証。
植物群落保護林 計			10.73		
計			11,700.66		

(2) 緑の回廊の名称及び区域

緑の回廊は、より広範で効果的な森林生態系の保護・保全に努めるため、野生動植物の移動経路を確保し、生息・生育地の拡大と相互交流を促すことが適当と認められる国有林野を選定することとして、下記のとおり設定する。

なお、緑の回廊の取扱いは「緑の回廊設定方針」(別添)により行うこととする。

名 称	既 設 ・ 新 設	延 長 (km)	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等
緑 の 回 廊 三 国 線	既 設	36.1	5,047.54	217ロ 218ら～イ 219ハ 220た <sub>1</sub> 、た <sub>2</sub> ニ <sub>1</sub> ～ホ 222わ、よ～そ、ニ ホ 230り、ぬ 231わ～ら、ロ 233い～は <sub>2</sub> 、ロ～ホ 234～237全 309イ～ハ 310ロ <sub>2</sub> ～ロ <sub>4</sub> 318ホ <sub>2</sub> ～ホ <sub>4</sub> 319イ <sub>2</sub> 、イ <sub>6</sub> 、イ <sub>7</sub> ト <sub>1</sub> ～ト <sub>9</sub> ト <sub>13</sub> 、ト <sub>14</sub> 335こ <sub>3</sub> 、ロ <sub>1</sub> ～ロ <sub>3</sub> 339ろ～イ <sub>3</sub>	「利根川源流部・燧ヶ岳周辺森林生態系保護地域」と「佐武流山周辺森林生態系保護地域」を結ぶ三国山脈沿いで、天然生林の多い地域である。
緑 の 回 廊 日 光 線	〃	7.6	1,275.18	62い <sub>1</sub> ～ぬ <sub>3</sub>	「利根川源流部・燧ヶ岳周辺森林生態系保護地域」及び「奥会津森林生態系保護地域」を結ぶ天然生林の多い地域である。
合 計			6,322.72		

6 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	選定理由	位置 (林小班)	備考	
自然休養林	ほたか 武尊	既設	森林スポーツゾーン 179.02	<p>陰阻な稜線を持つ雄大な山体、山頂からの眺望、柱状や板状節理の発達した溶岩、垂直分布の顕著な多種の植生、ブナ、ダケカンバの天然林、田代・花咲湿原と湿原植物、多種の高山植物等により形成され、優れた自然景観を呈している。</p> <p>このため、利用者の安全に配慮して、巡視を強化するとともに、利用者からの情報収集など、引き続き安全の確保に努めることとする。</p>	<p>29ろ～に 30へ、ち～る 52る<sub>1</sub>、る<sub>2</sub> 53い<sub>2</sub>～い<sub>6</sub> ろ<sub>1</sub>、に<sub>9</sub>、に<sub>12</sub> に<sub>14</sub>、に<sub>15</sub>、ほ 54ろ<sub>2</sub>、ろ<sub>3</sub> 367ろ<sub>1</sub>～ろ<sub>3</sub>、は、は<sub>3</sub>、ほ ほ、ち、り<sub>2</sub>、り<sub>4</sub>、り<sub>6</sub></p>	育成複層林施業	
			風景ゾーン 775.66			<p>27い 28へ 29ほ～へ<sub>2</sub> 30と<sub>1</sub>、と<sub>2</sub>、る<sub>2</sub>～る<sub>4</sub> 48や 49よ 50む、う 51よ<sub>1</sub>、た、た、つ、ね 53い<sub>7</sub>、い<sub>10</sub>、は、に<sub>1</sub>、に<sub>10</sub>、に<sub>11</sub>、に<sub>13</sub>、に<sub>16</sub>、 ほ、ほ<sub>6</sub>、ほ<sub>7</sub> 54ろ<sub>1</sub>、は～ほ 366へ<sub>3</sub>、り<sub>7</sub> 367い、ろ<sub>4</sub>、は、に、 ほ～と、り<sub>1</sub>、り<sub>3</sub>、り<sub>5</sub> り<sub>7</sub>、る<sub>1</sub>～る<sub>3</sub></p>	天然生林施業
			風致探勝ゾーン 221.75			<p>369わ、か 371れ 374わ<sub>2</sub></p>	
			自然観察教育ゾーン 217.14		<p>26イ 27イ 29イ 30イ<sub>1</sub>～イ<sub>3</sub>、ロ<sub>2</sub>、ロ<sub>4</sub> 48ニ 49ロ 50ロ 51イ<sub>1</sub>～ロ 52ロ 53イ 366イ 367イ、ロ</p>	林地以外	
自然休養林計			1,393.57				

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	選定理由	位置 (林小班)	備考
自然観察教育林	たんぼら 玉原	既設	128.01	武尊山西方の火山性尾根に位置し、ブナ、ミズナラを主とした天然広葉樹林で、区域内に「小尾瀬」と呼ばれる玉原湿原があり、ミズバショウ、キンコウカ等の湿原植物が見られ、自然観察教育に適し利用利用者が多い。 このため、自然環境の維持に努めることとする。	13い <sub>1</sub> ----- 13い <sub>1</sub> ～い <sub>4</sub>	天然生林施業 林地以外
	針山	〃	0.57	片品村花咲集落の北西約700mに位置する湿原でザゼンソウ等の湿原植物が生育し、地域の小・中学生の自然観察・自然探勝に利用されている。 このため、自然環境の維持に努めることとする。	46か <sub>1</sub>	育成複層林施業
	越本	〃	4.71	片品川の支流白井沢の上流に位置する湿原で、ミズバショウ等の湿原植物が群生し、地域の小・中学生の自然観察・自然探勝に利用されている。 このため、自然環境の維持に努めることとする。	58お、ま、て <sub>2</sub> ----- 58く ----- 58口	育成複層林施業 天然生林施業 林地以外
	あまごいやま 雨乞山	新設	164.66	川場村役場の西方2.1kmに位置し、下部はスギ、カラマツ人工林、上部はミズナラ等の広葉樹林である。 雨乞山への登山道が整備され、一般利用者の自然観察教育の場として適していることから設定したものである。 このため、登山道はじめ周囲の巡視に努め、利用者の安全の確保に努めることとする。	39に、に、ほへち わつ ----- 39と、り ----- 39い <sub>1</sub> ～い <sub>3</sub>	育成複層林施業 天然生林施業 林地以外
自然観察教育林計			297.95			

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	選定理由	位置 (林小班)	備考
森林スポーツ林	玉原	既設	202.35	武尊山西方の山腹に位置し、玉原湖サイクリングコース、多目的広場、宿泊施設等が設置され、玉原高原における総合的な利用が図られている。 このため、利用者の安全に配慮して、巡視の強化に努めることとする。	10ろ、は、ほと、ち	育成複層林施業
					10い、に、へ〜、りぬ、り〜よ	天然生林施業
					10イ〜ハ	林地以外
	川場	〃	8.89	川場 <sup>とくさ</sup> 村木賊集落の北方約2kmの川場谷沢の左岸に位置し、キャンプ場として地域住民はもとより、周辺市町村の小・中学生に利用されている。 このため、利用者の安全に配慮して、巡視の強化に努めることとする。	25こ、へ、ち、り <sub>11</sub>	育成複層林施業
					25ほ、とに、か、つ	天然生林施業
					25イ	林地以外
森林スポーツ林計			211.24			

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	選定理由	位置 (林小班)	備考
野 外	玉原 スキー場	既設	674.10	武尊山西方の山腹で標高1,000~1,300mに位置し、日本海側型気候を呈し、積雪量は豊富である。傾斜は10~30°で、初心者から上級者向きで起伏に富んだスキー場であり、群馬県はもとより首都圏からの利用者で賑わっている。 夏季はキャンプ、テニス等の利用者が多い。 このため、利用者の安全に配慮し、スキーコース等の周囲の森林巡視に努めることとする。	11ろ <sub>1</sub> ~に <sub>1</sub> 、り 12い <sub>3</sub> 、ろ <sub>1</sub> 、は <sub>1</sub> 、は <sub>2</sub> 、へ 14ち <sub>1</sub> ~ち <sub>1</sub> 、ぬ <sub>1</sub> ~ぬ <sub>2</sub> 、る <sub>2</sub> 15い <sub>3</sub> 、に <sub>1</sub> 、ほ <sub>2</sub> 、へ	育成複層林施業
					11ろ <sub>1</sub> 、ほ~ち 12い <sub>1</sub> 、い <sub>2</sub> 、い <sub>3</sub> ~い <sub>10</sub> ろ <sub>2</sub> 、は <sub>3</sub> ~ほ 13い <sub>2</sub> ~い <sub>8</sub> 14は <sub>1</sub> 、り、る <sub>1</sub> 、わ <sub>2</sub> 、わ <sub>3</sub> 15は <sub>1</sub> 、ほ <sub>1</sub> 、と <sub>2</sub> ~ぬ <sub>2</sub> 、る <sub>4</sub> る <sub>5</sub> 16わ <sub>3</sub> 、わ <sub>4</sub> 377て <sub>2</sub>	天然生林施業
					11ハ <sub>5</sub> ~ホ <sub>2</sub> 12イ <sub>1</sub> ~ニ <sub>2</sub> 13口 16イ	林地以外
ス ポ ー ツ 地 域	川場 スキー場	〃	495.12	武尊山南麓に位置し、気候は日本海側型の影響を受け、雪質は乾性、積雪量は豊富であり、変化に富んだスキー場であり、群馬県はもとより首都圏からの利用者で賑わっている。 このため、利用者の安全に配慮し、スキーコース等の周囲の森林巡視に努めることとする。	20い <sub>2</sub>	育成単層林施業
					16ぬ <sub>2</sub> 18ら <sub>2</sub> 19ろ~ち <sub>1</sub> 、ぬ~ぬ <sub>2</sub> 20ろ~に <sub>1</sub> 、と~る <sub>2</sub> 、る <sub>4</sub> る <sub>5</sub> 21と <sub>4</sub> 、と <sub>5</sub> 、ち <sub>2</sub> 、ぬ~る 22わ <sub>3</sub> 24り <sub>3</sub> 、る <sub>4</sub>	育成複層林施業
					14よ <sub>3</sub> 15る <sub>2</sub> 16る <sub>2</sub> 、わ <sub>3</sub> 19ち <sub>2</sub> ~り <sub>15</sub> 20ほ、へ、る <sub>3</sub> 、わ <sub>1</sub> 、わ <sub>2</sub> 21り 24る <sub>2</sub> 26い <sub>5</sub>	天然生林施業
					19口~ニ 20イ~ニ 21イ	林地以外
	武尊 スキー場	〃	419.47	武尊山東麓に位置し、雪質は良質で積雪量も豊富、12月下旬から3月下旬の安定滑走と変化に富んだスキー場として優れていることから利用者が多い。 このため、利用者の安全に配慮し、スキーコース等の周囲の森林巡視に努める	47れ <sub>2</sub>	育成単層林施業
					46ろ <sub>1</sub> ~ろ <sub>2</sub> 、ろ <sub>5</sub> 、ろ <sub>6</sub> ち <sub>1</sub> ~り <sub>6</sub> 、ぬ <sub>2</sub> 、る <sub>2</sub> 、わ か <sub>3</sub> 、よ <sub>4</sub> 、た <sub>2</sub> 、れ 47い <sub>3</sub> 、い <sub>4</sub> 、は~に <sub>5</sub> 、ほ <sub>3</sub> ち <sub>1</sub> ~り <sub>2</sub> 、る <sub>1</sub> ~る <sub>5</sub> 、る <sub>7</sub> わ、た 48う <sub>7</sub> 、う <sub>8</sub> 、の <sub>2</sub> 、の <sub>4</sub>	育成複層林施業

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	選定理由	位置 (林小班)	備考
野 外	武尊 スキー場			こととする。	46ろ <sub>1</sub> 、ろ <sub>7</sub> 、た 47ほ、ほ、へ、と、ぬ る <sub>6</sub> 、か <sub>3</sub> 、よ 48う <sub>9</sub> 、う <sub>10</sub> 、の <sub>3</sub> 、の <sub>5</sub> ～の <sub>7</sub> く	天然生林施業
					46イ、ハ <sub>1</sub> ～ハ <sub>3</sub> 47イ <sub>1</sub> ～ホ <sub>2</sub> 48ハ <sub>1</sub> 、ハ <sub>2</sub>	林地以外
ス ポ ー ツ 地 域	四季の森 ホワイト ワイルド 尾瀬岩鞍	既設	455.78	片品村土出地区西方2km <sup>つちいで</sup> に位置し、積雪は乾性、積雪量は豊富で12月下旬から4月下旬まで滑走可能な優れたスキー場であることから、首都圏等からの利用者も多い。 このため、利用者の安全に配慮し、スキーコース等の周囲の森林巡視に努めることとする。	59ふ、え	育成単層林施業
					53い 54い <sub>1</sub> 、い <sub>2</sub> 、い <sub>11</sub> 、い <sub>12</sub> 、い <sub>15</sub> い <sub>16</sub> 、ろ <sub>4</sub> 、と <sub>1</sub> 、と <sub>2</sub> 、と <sub>4</sub> と <sub>5</sub> 、ち <sub>1</sub> 、ぬ、ぬ <sub>3</sub> 、る <sub>1</sub> 59よ <sub>1</sub> 、た、れ、れ <sub>2</sub> 、ら む、う <sub>1</sub> 、う <sub>2</sub> 、の <sub>1</sub> 、の <sub>2</sub> や、や、ま～ま <sub>4</sub> 、こ て、あ、あ、き <sub>2</sub> 、 ゆ～ゆ <sub>4</sub> 、め、し 60ろ <sub>3</sub> 、つ、ね	育成複層林施業
					53い 54い <sub>10</sub> 、い <sub>13</sub> 、い <sub>13</sub> 、へ、と <sub>3</sub> ち <sub>3</sub> 、り、ぬ、る <sub>2</sub> 、る <sub>3</sub> 59な <sub>3</sub> ～は、う <sub>3</sub> 、う <sub>4</sub> 、お く、さ、き <sub>1</sub> 、み 60な、な <sub>3</sub>	天然生林施業
					54イ <sub>1</sub> ～ハ <sub>3</sub> 59イ <sub>2</sub> ～イ <sub>6</sub> 、ニ <sub>1</sub> ～ニ <sub>4</sub> 、ホ <sub>1</sub> ト	林地以外
	片品高原 スキー場	〃	117.16	片品村土出地区西方2kmに位置し、隣接民有地スキー場と一体的利用を図るものである。 積雪は乾性、積雪量は豊富で12月下旬から3月下旬まで滑走可能な優れたスキー場であることから、首都圏等からの利用者も多い。 このため、利用者の安全に配慮し、スキーコース等の周囲の森林巡視に努めることとする。	54い <sub>7</sub> 、い <sub>8</sub> 55ろ <sub>3</sub> 58ゆ、め <sub>2</sub> ～み 59い～ほ、と～る <sub>5</sub> 、か よ <sub>2</sub> 、よ <sub>3</sub> 、れ～な <sub>1</sub>	育成複層林施業
					54い <sub>9</sub> 59へ、へ <sub>2</sub> 、わ <sub>1</sub> 、わ <sub>2</sub> 、な <sub>2</sub>	天然生林施業
					58イ 54イ <sub>1</sub> 、ロ <sub>1</sub> ～ハ、ニ <sub>3</sub> 、ホ <sub>2</sub>	林地以外
	尾瀬戸倉 スキー場	〃	156.22	片品村北端に位置するスキー場で、雪質は乾性で積雪量は豊富、変化に富んだ	61い～ほ、と、ち ね～か、れ、む、う <sub>2</sub> う <sub>5</sub> ～お、く <sub>2</sub> ～ま、ふ	育成複層林施業

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	選定理由	位置 (林小班)	備考
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	尾瀬戸倉スキー場			スキー場である。 このため、利用者の安全に配慮し、スキーコース等の周囲の森林巡視に努めることとする。	こ 61へ <sub>1</sub> 、へ <sub>2</sub> 、ち <sub>1</sub> ～る <sub>3</sub> よ <sub>1</sub> ～た、そ、つ、 う <sub>2</sub> ～う <sub>4</sub> 、く <sub>1</sub> 、け、 え～あ	天然生林施業
					61イ <sub>1</sub> ～ニ <sub>2</sub> 、ホ	林地以外
	尾瀬三ヶ峰スキー場	既設	230.69	三ヶ峰西方の山腹に位置し、標高900～1,800mで、傾斜は10～30°で雪質は良好、積雪量は豊富で初級から上級者に適応するスキー場である。 このため、利用者の安全に配慮し、スキーコース等の周囲の森林巡視に努めることとする。	67む <sub>3</sub> 68ろ、へ 69り <sub>2</sub>	育成単層林施業
					67れ <sub>3</sub> 、な <sub>4</sub> ～な <sub>6</sub> 、ら <sub>2</sub> ～ら <sub>4</sub> 68い、は、は <sub>2</sub> 、に、ほ と 69い～へ、と～ち <sub>3</sub> 、わ <sub>1</sub> わ <sub>4</sub> 、か、か <sub>2</sub> 、よ	育成複層林施業
					68は 69へ <sub>2</sub> 、り <sub>3</sub> 、れ、そ	天然生林施業
					67ニ 68ロ、ハ 69イ	林地以外
	糸之瀬スポーツ林	〃	17.87	赤城山の北西の山麓に位置し、カラマツを主とする植生で、地形は緩く、森林空間を利用したスポーツ施設等の設置に適している。 隣接民有地と一体となり野外活動に活用されている。 このため、利用者の安全に配慮して、巡視に努めることとする。	157い、ろ	育成複層林施業
					157イ	林地以外
	大峰山スポーツ林	〃	140.90	大峰山南麓に位置し、サイクルスポーツと森林レクリエーションを組み合わせたレクリエーションの森である。 利用者の安全に配慮して巡視に努めることとする。	251ほ、ぬ～る 252へ <sub>2</sub> 、る <sub>2</sub> 、か <sub>3</sub> 252い	育成単層林施業
					250は 251い <sub>1</sub> 、ろ～に <sub>2</sub> 、へ～り <sub>2</sub> わ <sub>2</sub> 、わ <sub>3</sub> 、つ～な <sub>3</sub> 、む <sub>2</sub> む <sub>3</sub> 、う <sub>2</sub> 、う <sub>3</sub> 252ほ、ち <sub>2</sub> ～ち <sub>6</sub> 、ち <sub>8</sub> 、り <sub>2</sub> ぬ、る <sub>1</sub> 、わ、わ <sub>2</sub> 、よ	育成複層林施業
253ろ、は、に、ほ、へ と <sub>2</sub> 、る <sub>2</sub> 、る <sub>4</sub> 、わ、か <sub>3</sub> か <sub>3</sub> 、か <sub>3</sub>					天然生林施業	

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	選定理由	位置 (林小班)	備考
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	大峰山 スポーツ林				254は、た 251イ～ト <sub>4</sub> 、ヌ <sub>1</sub> ～ヌ <sub>3</sub> 251イ <sub>1</sub> 、イ <sub>2</sub> 、ハ <sub>1</sub> 253ロ	林地以外
	赤 沢 スキー場	既設	110.21	新潟県境近くに位置し、 日本海側型気候の影響を強 く受け積雪量が多い。下部 の傾斜は緩やかであるが、 上部は比較的急傾斜で変化 に富み、初級から中級者ま で楽しめるスキー場である る。 利用者の安全に配慮し、 スキーコース等の周囲の森 林巡視に努めることとす る。	216に、ほ、へ、ち <sub>1</sub> 、り <sub>1</sub> 217い、ろ <sub>1</sub> 221う <sub>2</sub>	育成複層林施業
					216い、は、ほ、と <sub>1</sub> 、と <sub>2</sub> 220に 221い <sub>1</sub>	天然生林施業
					216イ <sub>1</sub> 、イ <sub>2</sub> 、ハ	林地以外
ホ ウ イ ト バ レ ー ス キ ー 場	"	82.95	高倉山から湯蔵山を経て 今倉山西面の、標高は600 ～1,450mに位置する。山麓 部は緩傾斜地、上部は比較 的急傾斜地で、初級から上 級者に適するスキー場であ る。 利用者の安全に配慮し、 スキーコース等の周囲の森 林で巡視に努めることとす る。	312な <sub>3</sub> ～む <sub>1</sub> 、の <sub>2</sub> ～や け～て <sub>1</sub> 、き、ゆ <sub>6</sub> 、ゆ せ <sub>2</sub> ～せ	育成複層林施業	
				312ぬ <sub>2</sub> 、ま、あ、ゆ <sub>5</sub> 、せ 313け	天然生林施業	
				312イ <sub>2</sub> ～イ <sub>4</sub> 、ロ <sub>3</sub> 、ハ	林地以外	
大 穴 スキー場	"	32.55	インターハイ発祥のスキ ー場として知られ、上部は 雪質も良好で積雪量も豊富 である。 利用者の安全に配慮し、 スキーコース等の周囲の森 林巡視に努めることとす る。	313い <sub>1</sub> ～ろ 313こ	育成複層林施業	
				314へ、り	天然生林施業	
				313イ、ロ、ニ	林地以外	
天 神 平 スキー場	"	210.29	谷川岳南東の稜線、天神 平から湯檜曾川に至る、標 高700～1,450mに位置して いる。日本海側型気候の影 響を受け、積雪も早く積雪 量、雪質等にも恵まれ11月 上旬から5月までスキー場 として利用され、夏季から 秋季には登山、自然探勝等 利用客は多い。 このため、利用者の安全	318へ 323ぬ	育成複層林施業	
				312と <sub>2</sub> 、ち <sub>2</sub> 、り <sub>2</sub> 316よ～れ 317い～に 318い～は、ほ	天然生林施業	
				310ハ 312イ <sub>1</sub> 、ホ <sub>2</sub> 316イ <sub>1</sub> ～ロ <sub>1</sub> 、ロ <sub>3</sub>	林地以外	

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	選定理由	位置 (林小班)	備考
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	天神平スキー場			に配慮し、スキーコース等の周囲の森林巡視に努めることとする。	317イ <sub>3</sub> ～ハ <sub>3</sub> 318イ <sub>1</sub> ～ニ <sub>3</sub> 323ロ <sub>1</sub> ～ロ <sub>3</sub> 、ニ <sub>2</sub> 、ニ <sub>3</sub>	
	宝台樹スキー場	既設	35.77	藤原地区の標高1,000～1,100mに位置するスキー場で、雪質は乾性、積雪量は豊富で変化に富んだ地形を有し初級から上級者に適するスキー場である。 このため、利用者の安全に配慮し、スキーコース等の周囲の森林巡視に努めることとする。	373イ <sub>1</sub> ～ハ <sub>2</sub> 373に <sub>1</sub> 、に <sub>2</sub> 373ロ	育成複層林施業 天然生林施業 林地以外
	吾妻耶山スキー場	〃	169.77	吾妻耶山南東面の標高800～1,000mに位置し、傾斜は10～30°で起伏に富み、日本海側型気候の影響を受け、積雪量は豊富である。関越自動車道水上ICより至近で利便性も高い。 このため、利用者の安全に配慮し、スキーコース等の周囲の森林巡視に努めることとする。	301い、ろ、に、ほとぬ～ぬ、る <sub>1</sub> 、る <sub>2</sub> 、ね <sub>2</sub> 、よ～れ、つ、ね <sub>2</sub> 、ら、む、の、お、お <sub>2</sub> 、く、ま、え～え <sub>3</sub> 、え <sub>5</sub> ～え <sub>6</sub> 、さ、き 302る <sub>4</sub> 、か <sub>2</sub> 、た <sub>2</sub> 301は、へ、ち、ち、り <sub>1</sub> 、ぬ、る <sub>3</sub> 、か、そ、な <sub>2</sub> 、う、の <sub>2</sub> 、お <sub>3</sub> 、や <sub>2</sub> 、け～こ、え <sub>4</sub> 、え <sub>5</sub> ～あ 302る <sub>2</sub> 、る <sub>3</sub> 302イ <sub>1</sub> ～ニ	育成複層林施業 天然生林施業 林地以外
奥根国際スキー場	〃	157.07	湯檜曾地区西部に位置し日本海側型気候の影響を受け積雪量、雪質は良好で初級から上級者に利用できるスキー場である。 このため、利用者の安全に配慮し、スキーコース等の周囲の森林巡視に努めることとする。	384は、つ <sub>3</sub> ～ね、め <sub>1</sub> 、ひ～ひ <sub>8</sub> 、も <sub>9</sub> 、せ <sub>2</sub> 、せ <sub>3</sub> 、せ <sub>5</sub> 、せ <sub>6</sub> 、せ <sub>8</sub> ～す <sub>6</sub> 386ら 381ち 382ち 383に 384に、つ、ね、の <sub>1</sub> 、せ <sub>1</sub> 、せ <sub>4</sub> 、せ <sub>7</sub> 、す <sub>7</sub> ～す <sub>9</sub> 386む <sub>1</sub> 、む <sub>2</sub> 384イ、ハ	育成複層林施業 天然生林施業 林地以外	
野外スポーツ地域計			3,505.92			

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	選 定 理 由	位 置 (林小班)	備 考
風	お い が み 神 老 神	既設	6.66	老神温泉の東方、片品川左岸に位置し、アカマツを主とする天然林で優れた自然景観を形成しており、老神温泉の背景林となっている。 このため、利用者の安全と自然環境の維持・保全のため、巡視に努めることとする。	109れ、そ	天然生林施業
	不 動 滝	既設	1.77	国道17号沿線の布施宿の南西3kmに位置し、民有地内の不動尊の背景にあり、高さ30m余りの絶壁上から不動滝（綾織の滝）が落下しており、周辺の天然広葉樹と調和し、優れた景観を形成している。 このため引き続き景観の維持に努めることとする。	203イ <sub>3</sub>	林地以外
景	三 国 峠	〃	274.91	新潟県境に接する区域で、旧三国街道が中央付近を通過し、その近景林である。稜線に沿ってニッコウキスゲ等の高山植物が見られ、山腹には天然広葉樹林と清流が織りなした優れた自然景観を呈している。 このため引き続き景観の維持に努めることとする。	220た <sub>1</sub> 、た <sub>2</sub> 221わ、よ～そ	天然生林施業
					220ニ <sub>1</sub> ～ホ 222イ～ニ	林地以外
林	三 国	〃	1.44	三国山の南山腹に位置し戊辰戦争に由来する大般若塚の背景林である。 このため引き続き景観の維持に努めることとする。	221ひ 222り	天然生林施業
	て る は き よ う 照 葉 峡	〃	395.67	湯ノ小屋川の上流部に位置する木ノ根沢は「照葉峡」と呼ばれ、大小無数の滝と溪谷にせまる絶壁とヒバ、ブナ、ミズナラ等の天然林が調和し、優れた自然景観を形成している。 このため、引き続き景観の維持に努めることとする。	364か <sub>1</sub> ～よ <sub>2</sub> 、れ、つ な <sub>1</sub> ～ら <sub>2</sub> 365ろ～ほ、り～る <sub>1</sub> 368り、る 370い、ろ、と ----- 364り <sub>2</sub> 、わ、む <sub>3</sub> 365い、ち、か、よ 366へ <sub>1</sub> 、へ <sub>2</sub> 、へ <sub>3</sub> 、へ <sub>4</sub> 368ろ～ち、ぬ、そ 370は、へ <sub>1</sub> 、へ <sub>2</sub>	育成複層林施業  天然生林施業

種類	名称	既設・ 新設	面積 (ha)	選 定 理 由	位 置 (林小班)	備 考
風景林	てるはきよう 照葉峡				366イ 368イ	林地以外
	一の倉・ マチガ沢	既設	96.51	谷川岳北面に位置し、我が国屈指の岸壁を誇る一の倉沢は、夏でも残雪が見られ、魅力的な景観を与えてくれる。 このため、引き続き景観の維持に努めることとする。	319ろ、は、ほ、へ ----- 319イ～ホ	天然生林施業 林地以外
風景林計			776.96			

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	選定理由	位置 (林小班)	備考
風 致 探 勝 林	吾妻耶山	既設	104.72	標高1,133mの山頂からの眺望と山頂付近に群生するシラクナゲの開花期は優れた森林景観を呈する。山頂付近の吾妻山神社の背景林ともなっており、地元地元住民はもとより小・中・高生等のハイキング、自然探勝等利用者は多い。 このため、利用者の安全に配慮し、巡視の強化に努めることとする。	301り ----- 246も～す 247れ、そ 301り <sub>2</sub> 302れ、そ 303な	育成複層林施業 天然生林施業
	大峰山	〃	48.24	区域の中心をなす大峰沼と新緑、紅葉と等四季を通じ優れた自然美を構成している。地元住民はもとより、小・中・高生等のキャンプ、ハイキング、自然探勝等に利用されている。 このため、利用者の安全に配慮し、巡視の強化に努めることとする。	252た～つ 253ち、つ、な～う <sub>1</sub> 、の ----- 253ね、う <sub>2</sub> 、お ----- 252ハ 253ハ	育成複層林施業 天然生林施業 林地以外
	三峰山	〃	82.89	稜線が台地状の山体で眺望に優れ、区域内にある河内神社の背景林となっている。 このため、利用者の安全に配慮しつつ、景観の維持に努めることとする。	1か、よ 255ろ、は、へ ----- 255い、に、ほと <sub>1</sub> ----- 1ロ 255イ、ロ	育成複層林施業 天然生林施業 林地以外
	赤城山	〃	92.19	赤城山の西面に位置し、眺望に優れ、紅葉等が一体となった自然景観を有している。 このため、引き続き景観の維持に努めることとする。	149ね、ら <sub>1</sub> ～ら <sub>1</sub> 、む ----- 149れ、ね、な ----- 149イ、ロ	育成複層林施業 天然生林施業 林地以外
	裏見の滝	〃	1.39	利根川支流武尊川の上流部に位置し、高さ80mの絶壁から落下する大瀑布と周辺天然生林が調和し、優れた自然景観を形成している。 散策や森林浴等にも利用されていることから、利用者の安全に配慮しつつ、景観の維持に努めることとする。	375へ ----- 375イ	天然生林施業 林地以外

種類	名稱	既設・新設	面積 (ha)	選定理由	位置 (林小班)	備考
	風致探勝林計		329.43			

種類	名称	既設・ 新設	面積 (ha)	選 定 理 由	位 置 (林小班)	備 考
そ の 他	はなさく 花咲ふれ あい広場	既設	5.13	単独レクリエーション施設	49ろ <sub>3</sub> 55ほ	育成複層林施業
					49い、に	天然生林施業
	法師温泉	〃	0.01	〃	334口	林地以外
	たいらつびよう 平 標 山 の 家	〃	0.12	〃	233イ	林地以外
	なめざわ 奈女沢入 園 地	〃	0.07	〃	262口	林地以外
	明治学院 大学山荘	〃	1.49	〃	52り	育成複層林施業
	谷川岳・ 肩ノ小屋	〃	0.04	〃	310イ <sub>1</sub>	林地以外
	天神尾根 熊穴小屋	〃	0.01	〃	310イ <sub>2</sub>	林地以外
	武 尊 避難小屋	〃	0.01	〃	372イ	林地以外
	藤原ダム 駐 車 場	〃	0.20	〃	382イ	林地以外
笠ヶ岳 避難小屋	〃	0.01	〃	334口	林地以外	
そ の 他 計			7.09			
合 計			6,522.16			

## 7 その他必要な事項

### (1) 施業指標林、試験地等

種類	名称	設定年	面積 (ha)	位置 (林小班)	備考
施業指標林	小面積皆伐及び 非皆伐施業指標林 (子持山施業指標林)	S51.3	29.38	162に <sub>2</sub> ～に <sub>14</sub> に <sub>16</sub> ～に <sub>20</sub>	高密路網を開設し、一伐区の縮 小及び非皆伐による樹下更新の モデル施業を実施する
施業指標林計			29.38		
試験地	宝川森林理水 試験地	S9	114.34	336に～か、ニ	森林の理水試験
	傾斜地における大 型機械等を活用し た天然更新方法試 験地	H3.4	12.70	336わ <sub>6</sub> 、わ <sub>9</sub> 、 よ	より確実な天然更新を図るた め、傾斜地のササ密生地におけ る大型機械によるかき起こし作 業方法の確立
	ササ生地等におけ る広葉樹の保育方 法についての試験 地	H4.4	14.96	367ろ <sub>2</sub> 、ろ <sub>4</sub>	天然下種更新施業方法における ササ等の刈払方法、稚幼樹の保 育方法等について調査・研究
	低コスト化を目指 した人工造林技術 の研究のための試 験地	H1.4	1.43	162に <sub>15</sub>	造林事業の省力化により低コス ト化を図る
	森林の風致維持管 理等のあり方につ いての研究のため の試験地	H2.4	57.28	148き <sub>3</sub> 、て ゆ <sub>1</sub>	レクリエーションの森及びその 周辺の森林を対象にした風致維 持管理手法のあり方について研 究
	階段造林事業化試 験地	S37	25.35	116は 130に <sub>1</sub> 、に <sub>5</sub> 156と	中、急傾斜地における造林作業 の機械化及び能率化を図る
試験地計			226.06		
展示林	モミ展示林	S46.3	0.46	148あ <sub>1</sub>	地元造林功労者功績保存林
展示林計			0.46		

種 類	名 称	設定年	面積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
次代検定林	一般検定林 (関前第17号)	S49.4	2.33	157ぬ <sub>3</sub>	遺伝的生産能力の検定 (カラマツ)
	一般検定林 (関前第4号)	S45.4	1.63	162る <sub>2</sub>	遺伝的生産能力の検定 (アカマツ)
	一般検定林 (関前第13号)	S48.4	2.37	203よ <sub>3</sub>	遺伝的生産能力の検定 (ヒノキ)
次代検定林計			6.33		
遺伝子保存林	カ ラ マ ツ	S53.4	1.50	55ろ <sub>5</sub>	長野南アルプス産
遺 伝 子 保 存 林 計			1.50		
合 計			263.73		

(2) フィールドの提供

位置 (林小班)	設定の目的	名 称	面 積(ha)	協 定 団 体
366に～ほ	ふれあいの森	奥利根ふれあいの森	55.52	群馬県他
48た <sub>2</sub> 、49ほ	遊々の森	花咲遊々の森	5.80	片品村
111ろ <sub>2</sub> 、わ、イ	遊々の森	穴原遊々の森	9.75	沼田市 (利根村)
13い <sub>1</sub> 内	ボランティアの森	玉原高原ブナ林復元の森	4.95	玉原高原の自然を守り 育てる会

(3) その他

レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法

位 置	面積 (ha)	施業方法
48に 49ろ <sub>1</sub> 50い 67か、た、ね、ね <sub>3</sub>	4, 108. 47	育成単層林施業
----- 11い <sub>1</sub> ~い <sub>4</sub> 14い <sub>1</sub> 、い <sub>3</sub> 、に <sub>1</sub> ~と <sub>2</sub> 15い <sub>1</sub> 、い <sub>2</sub> 16い <sub>1</sub> ~に <sub>5</sub> 、へ <sub>1</sub> ~と <sub>11</sub> 18へ <sub>1</sub> り、る <sub>2</sub> 、よ <sub>3</sub> 、よ <sub>4</sub> 、よ <sub>6</sub> 、た <sub>2</sub> つ、な <sub>1</sub> ~な <sub>5</sub> 、ら <sub>2</sub> 、ら <sub>4</sub> 19い 21と <sub>1</sub> ~と <sub>3</sub> 、ち <sub>1</sub> 24ろ、ほ <sub>1</sub> ~ほ <sub>7</sub> 、と、り <sub>1</sub> 、り <sub>1</sub> 、ぬ <sub>3</sub> 、わ、よ 25い、に <sub>1</sub> 、に <sub>2</sub> 、へ <sub>1</sub> 、ち <sub>1</sub> 、り <sub>1</sub> ~り <sub>7</sub> 、り <sub>10</sub> 29い <sub>1</sub> ~い <sub>2</sub> 30い~ほ 31ろ~に <sub>2</sub> 、へ <sub>1</sub> ぬ <sub>2</sub> 、る <sub>2</sub> ~ら 46い <sub>1</sub> ~い <sub>3</sub> 、は <sub>1</sub> に <sub>1</sub> 、ほ <sub>1</sub> 、へ <sub>1</sub> ち <sub>3</sub> 47い <sub>1</sub> 、い <sub>2</sub> 、ろ、か、か <sub>3</sub> 48い <sub>1</sub> 、い <sub>3</sub> ~い <sub>7</sub> 、ほ <sub>1</sub> へ <sub>1</sub> 、へ <sub>1</sub> ~た <sub>3</sub> 、れ~ね、な~な <sub>5</sub> 、ら <sub>1</sub> ~む <sub>1</sub> む <sub>3</sub> ~む <sub>5</sub> 、う <sub>2</sub> ~う <sub>4</sub> 、う <sub>6</sub> 、の <sub>1</sub> 、お <sub>4</sub> 、お <sub>5</sub> 49ろ <sub>2</sub> 、ほ <sub>1</sub> ~ほ <sub>3</sub> 、と <sub>1</sub> ~り、ぬ <sub>2</sub> ~ぬ <sub>5</sub> 、ぬ <sub>2</sub> 、ぬ <sub>3</sub> 、る <sub>2</sub> ~る <sub>6</sub> 50ろ <sub>1</sub> ~ろ <sub>3</sub> 、へ <sub>1</sub> ~へ <sub>3</sub> 、ち <sub>1</sub> ~り <sub>3</sub> 、わ <sub>1</sub> 、か、た、そ、ら <sub>1</sub> 51ろ、ほ <sub>1</sub> 、ほ <sub>2</sub> 、ぬ <sub>3</sub> 、る <sub>1</sub> 、れ 52ぬ <sub>4</sub> ~ぬ <sub>10</sub> 、わ 53ろ <sub>2</sub> 、ろ <sub>5</sub> 、に <sub>1</sub> ~に <sub>3</sub> 54い <sub>2</sub> ~い <sub>4</sub> 55に <sub>5</sub> 、る <sub>2</sub> 58さ、ゆ <sub>1</sub> 、め <sub>1</sub> 59し <sub>2</sub> ~し <sub>5</sub> 、せ <sub>1</sub> 、せ <sub>2</sub> 60ろ~に <sub>1</sub> 、へ <sub>1</sub> 、る <sub>1</sub> 、か、た、つ、ね、う <sub>1</sub> 、あ~ゆ 67ろ、は、ほ、へ <sub>1</sub> ~と、ぬ <sub>2</sub> ~る <sub>2</sub> 、る <sub>4</sub> ~わ、よ、れ <sub>1</sub> 、れ <sub>2</sub> 、そ~ね ね <sub>4</sub> ~な <sub>3</sub> 、ら <sub>1</sub> 69わ <sub>1</sub> ~わ <sub>3</sub> 、か <sub>2</sub> 211は、ほ 221え 248ら <sub>1</sub> ~ら <sub>3</sub> 、む、あ <sub>3</sub> ~あ <sub>6</sub> 251わ、わ <sub>2</sub> 、か、か <sub>2</sub> 、た、れ <sub>2</sub> ~つ <sub>1</sub> 、む <sub>1</sub> 、の、く 252ち <sub>1</sub> 、ち <sub>6</sub> 、ち <sub>7</sub> 、り <sub>1</sub> 、り <sub>3</sub> 、た <sub>1</sub> 、た <sub>2</sub> 253に、ほ、へ <sub>1</sub> 、と <sub>1</sub> 、り、る <sub>1</sub> 、る <sub>3</sub> 、か、か <sub>2</sub> 、か <sub>6</sub> 、よ~れ 254ろ、は、に~ほ <sub>2</sub> 、と~る <sub>2</sub> 、か~な、ら <sub>5</sub> ~む、う <sub>2</sub> 、う <sub>4</sub> 、う <sub>5</sub> や~て、さ <sub>9</sub> ~き、し <sub>1</sub> ~せ <sub>2</sub> 、せ <sub>6</sub> 、せ <sub>7</sub> 302か、よ、た、つ 312の <sub>1</sub> 、て <sub>2</sub> 、さ、ゆ <sub>1</sub> 、ゆ <sub>3</sub> 、し <sub>1</sub> 、し <sub>2</sub> 、ひ <sub>2</sub> ~も 313に、ほ、と 316わ 365る <sub>2</sub> ~わ <sub>2</sub> 、た~れ <sub>2</sub> 366い~ほ <sub>2</sub> 、ち~り <sub>2</sub> 、4 <sub>6</sub> 、り <sub>5</sub> 、ぬ、わ、わ <sub>2</sub> 368わ <sub>1</sub> ~わ <sub>4</sub>		育成複層林施業

位 置	面 積 (ha)	施 業 方 法
373は、ほ〜ち、ぬ 375ほ 384は、は、け、ゆ、し、ひ、も <sub>1</sub> 、も <sub>3</sub> 、も <sub>4</sub> 、も <sub>6</sub> 、も <sub>8</sub>		育成複層林施業
<hr/> 11い <sub>5</sub> 14い <sub>2</sub> 、ろ〜は、わ、か 15ろ <sub>1</sub> 、ろ <sub>2</sub> 、と <sub>1</sub> 16ほ 18よ <sub>1</sub> 、よ <sub>5</sub> 、た <sub>1</sub> 、ね、ら <sub>3</sub> 24に <sub>2</sub> 、に <sub>3</sub> 、へ、ち、る <sub>1</sub> 、か 25ろ〜は、ほ、ほ、り <sub>8</sub> 、り <sub>9</sub> 28い <sub>3</sub> 、は 31い、ほ、る <sub>1</sub> 46に <sub>2</sub> 、ほ 47か <sub>2</sub> 、か <sub>3</sub> 48い <sub>2</sub> 、ろ、は、へ <sub>2</sub> 、な、な <sub>6</sub> 、む <sub>2</sub> 、う <sub>1</sub> 、う <sub>5</sub> 、お <sub>1</sub> 〜お <sub>3</sub> 49い <sub>1</sub> 、い <sub>3</sub> 、は、に <sub>1</sub> 、へ、ぬ、ぬ <sub>6</sub> 、る <sub>1</sub> 、る <sub>7</sub> 〜か 50ろ <sub>4</sub> 〜ま、と、ぬ、る、わ <sub>2</sub> 、よ、れ、つ〜な、ら <sub>2</sub> 51い、は、に、へ〜り、る <sub>2</sub> 〜か、よ <sub>2</sub> 、そ 52か <sub>1</sub> 〜か <sub>3</sub> 53い <sub>1</sub> 、ろ <sub>3</sub> 、ろ <sub>4</sub> 、に <sub>3</sub> 54い <sub>1</sub> 55ろ <sub>1</sub> 、ほ 60に <sub>2</sub> 、ほ、る <sub>2</sub> 、わ、そ、ね、な、ら〜む <sub>2</sub> 67い、る <sub>3</sub> 69た 211い、ろ、に 217は、に 221ほ〜ち、る <sub>2</sub> 、よ、れ、む、う <sub>1</sub> 、く <sub>1</sub> 、あ、さ、す <sub>1</sub> 222ろ、に〜と 248ら <sub>4</sub> 、ら <sub>5</sub> 、あ <sub>1</sub> 、あ <sub>2</sub> 251よ、れ、お、お <sub>2</sub> 254へ、へ <sub>2</sub> 、ら <sub>1</sub> 、ら <sub>3</sub> 、ら <sub>4</sub> 、う <sub>1</sub> 、う <sub>3</sub> 、く、あ <sub>1</sub> 、あ <sub>2</sub> 312う <sub>1</sub> 、う <sub>2</sub> 、ゆ <sub>2</sub> 、ゆ <sub>4</sub> 、め、ひ 313は、へ 314いほ、と、ち 316わ <sub>2</sub> 、か 318は、に、と 320い 366り <sub>6</sub> 、る 368わ <sub>5</sub> 、わ <sub>6</sub> 373に <sub>3</sub> 、り、る <sub>1</sub> 、つ 375に <sub>1</sub> 、に <sub>2</sub> 383は、ほ、へ 384ろ、の <sub>2</sub> 、ま、も <sub>5</sub> 、も <sub>7</sub>		天然生林施業
<hr/> 11イ <sub>1</sub> 〜ハ <sub>4</sub> 14イ〜ハ 15イ <sub>1</sub> 、イ <sub>2</sub> 19イ 24イ〜ハ <sub>2</sub> 25口、ハ		林 地 以 外

位 置	面 積 (ha)	施 業 方 法
30口 <sub>1</sub> 、口 <sub>3</sub> 46口 48イ、口、ホ 49イ 50イ <sub>1</sub> 、イ <sub>2</sub> 、ハ 60イ <sub>2</sub> 、口 <sub>2</sub> 67イ、ハ <sub>1</sub> ～ハ <sub>3</sub> 248イ 250口 251チ 254イ <sub>1</sub> ～イ <sub>3</sub> 312ニ 316口 <sub>2</sub> 320口 373イ		林 地 以 外
計	4, 108. 47	

(注) (1)、(2)の箇所を除く。